

[平日]: 6限: 18:30 - 20:00, 7限: 20:00 - 21:30
 [土日]: 1限: 9:00 - 12:10, 2限: 10:40 - 12:10, 3限: 13:00 - 14:30
 4限: 14:40 - 16:10, 5限: 16:20 - 17:50, 6限: 18:00 - 19:30

令和5年度後期授業科目の概要及び開講時期

科目区分	No.	授業科目の名称	授業の概要	配当年次	単位数	開講時期	開講曜日	開講時限	担当教員
基礎	1	ビジネス統計	<p>身近に感じられるビジネス課題をベースにしなが、ビジネス統計に必要な技術、考え方を学びます。統計のベースを学びながら、データ処理の方法やレポートの作成方法、ビジネス課題に多く見受けられる課題を事例に学んでいきます。授業においては、実際に調べたい課題や企業の経営課題を題材としてデータを解析し、企業が行うべき施策を見出すことをタームの中で解析するプロジェクト型の学習を行います。興味関心のある分野や職務で用いているデータなどを授業で解析する形式も歓迎します。データ処理にはExcelもしくはPython(Google Colabory を用いる想定)でのデータ処理・集計、分析を想定しています。Excelについては四則演算の関数が実行できること、Pythonに関してはGoogleのアカウントを保持していると望ましいです。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス等)】 講師作成のテキストは、各回実施後に配布します。</p>	1年	2	第3クォーター (9月～11月)	火曜	6・7限	菅 由紀子
応用	2	サプライチェーンマネジメント	<p>何故コンビニエンスストアは時短に応じられないのか？ユニクロが成長する理由は？グローバルサプライチェーンが抱えるリスクとその対応は？GAFAが目指すグローバルサプライチェーンとは？スーパー、コンビニエンスストア、ユニクロからトヨタや商社、中間卸業等の日本企業の流通にとどまらず、GAFAのグローバルサプライチェーンの実態と、その成り立ちから現在の実情を学ぶ。その過程で、各々の仕組みが直面する課題やリスクを理解し、ディベート等を通じて、それぞれの課題解決に向けた方向性を導き出し、現在のSCMの先にある具体的な打ち手を考えていく。 また近年は米中対立、パンデミックやロシアのウクライナ侵攻がSCMIに大きく影響している。そのような環境変化にどう対応すべきかも議論をしていく。 授業担当講師は、商社で国内・外のヴァリューチェーンビジネスやSPAビジネスに長年携わってきた。また直近は日本の中間物流会社の経営者としてSCMIにも携わっており、その経験も交えて、SCMの実際と直面する課題を学んで行く。授業の後半部分では、ディベート等を通じて課題解決に向けた仮説を立て、日本の流通業界のトップビジネスマンに仮説をプレゼンテーションし、議論する中で、仮説の質の向上と、受講者の能力の向上を図っていく。 尚、授業を取り巻く環境によって、ゲストスピーカー及び講義内容を変更する事もある。また、休日を活用したサプライチェーンの2講義に現場視察も組み入れる予定ながら、視察が出来ない環境も予想され、その場合は講義室での通常講義に変更する。 ※応用科目であり、実ビジネスの経験が無い方の受講は、難易度が高い場合があります。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス等)】 講師は商社で国内・外の流通ビジネスや商社のトレーディング、及びバリューチェーンビジネスに携わってきた。その経験と、講師が有する業界最前線で活躍される人脈を活用して、SCMの枠組みと実践を共に学んでいく。なお、各回の順番に関しては、ゲスト講師の都合や講義の進捗状況次第で、前後する事がある。</p>	1年	2	第3クォーター (9月～11月)	木曜	6・7限	毛利 信作

[平日]: 6限: 18:30 - 20:00, 7限: 20:00 - 21:30
 [土日]: 1限: 9:00 - 12:10, 2限: 10:40 - 12:10, 3限: 13:00 - 14:30
 4限: 14:40 - 16:10, 5限: 16:20 - 17:50, 6限: 18:00 - 19:30

令和5年度後期授業科目の概要及び開講時期

科目区分	No.	授業科目の名称	授業の概要	配当年次	単位数	開講時期	開講曜日	開講時限	担当教員
応用	3	マーケティングB	<p>ビジネスを取り巻く市場や環境が激しく変化している現代社会において、企業が存続・成長していくためにマーケティングの重要性は今まで以上に増している。マーケティングの基本は消費者や市場を理解することである。そのため、講義では、消費者行動の基本(情報探索行動、関与、ライフスタイル、代替案評価)を理論的フレームワークを学んだ上で、市場ニーズや市場需要を予測するための具体的な方法や考え方について学んでいくことを目的としている。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス等)】 「マーケティングA」を履修すること。マーケティング入門を受講しておくことが望ましい。積極的な姿勢で授業に臨むこと。</p> <p>【履修条件】 「マーケティングA」の履修が必要。</p>	1年	1	第3クォーター後半 (10月～11月)	金曜	6・7限	江戸 克栄
応用	4	多様性と人材マネジメント	<p>日本企業のグローバル化は全世界市場をその対象とし、サプライチェーンマネジメントによって地域企業や中小企業を巻き込む形で進化を遂げている。その過程において国際化、IT化、分権化といった企業側からの事情のみならず、企業の社会的責任(CSR)の側面からも企業におけるダイバーシティ(多様性)の推進とそのマネジメントは喫緊の課題となっている。本授業では、今日における人材マネジメントモデルを「ダイバーシティ・マネジメント」と位置付け、多様な人材のマネジメント手法に関して、理論的かつ実証的な考察を行っていく。講義はテキストおよび参考文献に基づく発表とレクチャーを中心に行うが、新聞・雑誌記事のトピック解説、ケースメソッド、グループディスカッション、全体討議も織り交ぜる。期末には自社(あるいは特定企業)の多様性に関する課題を取り上げ、プレゼンテーションを行う。(*授業の進め方は履修人数によって変動することがある)</p> <p>【備考(履修上のアドバイス等)】 民族や文化の同質性を基盤とした日本企業の競争優位は崩れつつあります。人材の多様性に基づくダイバーシティ・マネジメントを学ぶため、高い問題意識と入念な事前準備をもって参加してください。なお、デュアルに関する授業運営の詳細については、開講前のユニバに掲示しますので必ず確認してください。</p>	1年	2	第3クォーター (9月～11月)	土曜	1・2限	木谷 宏
基礎	5	ファイナンスA	<p>本授業では、「ファイナンス基礎」の内容を十分に理解していることを前提とし、コーポレートファイナンスに関する基本的な知識及び考え方をしっかり丁寧に勉強する。企業価値の考え方、キャッシュフロー分析を始めとして、リスク、ポートフォリオ理論、資本資産価格モデル(CAPM)という、コーポレートファイナンスにおける重要な知識及び考え方を理解することを目的としている。実習、練習問題等の解答では、表計算ソフト(エクセル等)を用いる。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス等)】 参考文献にあげている田中・保田(2019)は、必ずしも購入する必要はないが、より深い学びを追求される方は購入されたい。 ・田中慎一・保田隆明『コーポレートファイナンス戦略と実践』ダイヤモンド社、2019年 「ファイナンスB」でも活用することから、「ファイナンスB」を履修される予定の方は購入することで学習効果は高まるだろう。 海外MBAでは、以下のようなテキストがファイナンスの講義において使われている(翻訳本があるものに限って紹介する)。 (1)バーク、ディマーズ『コーポレートファイナンス:入門編[第2版]』丸善出版、2014年 (2)フリーラー『コーポレート・ファイナンス第10版(上)』日経BP社、2014年 (3)デザイ『HOW FINANCE WORKS』ダイヤモンド社、2020年 等 なお、授業の内容は、履修者の関心や理解度に応じて変更する可能性がある。</p> <p>【履修条件】 本科目には履修条件はありませんが、「ファイナンスA」の内容の理解が「ファイナンスB」の履修の前提となっています。</p>	1年	1	第3クォーター 隔週前半 (9月～11月)	土曜	3・4限	高橋 陽二

[平日]: 6限: 18:30 - 20:00, 7限: 20:00 - 21:30
 [土日]: 1限: 9:00 - 12:10, 2限: 10:40 - 12:10, 3限: 13:00 - 14:30
 4限: 14:40 - 16:10, 5限: 16:20 - 17:50, 6限: 18:00 - 19:30

令和5年度後期授業科目の概要及び開講時期

科目区分	No.	授業科目の名称	授業の概要	配当年次	単位数	開講時期	開講曜日	開講時限	担当教員
基礎	6	マーケティング演習	<p>ビジネスを取り巻く市場や環境が激しく変化している現代社会において、企業が存続・成長していくためにマーケティングの重要性は今まで以上に増している。そのため、本演習では、伝統的マーケティングマネジメントだけではなく、近年重要性を増してきている、顧客志向、関係構築、グローバル化、情報化社会とマーケティングをテーマとして、議論やディスカッションを行う。ここで扱う事例は広範囲にわたっており、そこからマーケティングそしてその基本的プロセスを体系的に習得する。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス等)】 「マーケティングA」を履修すること。マーケティング入門を受講しておくことが望ましい。積極的な姿勢で授業に臨むこと。</p>	1年	1	第3クォーター 隔週後半 (10月～11月)	土曜	3・4限	江戸 克栄
基礎	7	マーケティングA <福山市開講>	<p>ビジネスを取り巻く市場や環境が激しく変化している現代社会において、企業が存続・成長していくためにマーケティングの重要性は今まで以上に増している。そのため、本講義では、伝統的マーケティングマネジメントだけではなく、近年重要性を増してきている、顧客志向、関係構築、グローバル化、情報化社会とマーケティングをテーマとする。講義で扱う事例は広範囲にわたっており、そこからマーケティングそしてその基本的プロセスを体系的に習得する。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス等)】 マーケティング入門を受講されることが望ましい。積極的な姿勢で授業に臨むこと。</p> <p>【履修条件】 本科目には履修条件はありませんが、「マーケティングA」の履修が「マーケティング演習」、「マーケティングB」の履修条件となるため、履修を検討している方は「マーケティングA」を履修ください。</p>	1年	1	第3クォーター集中	10/8(日) 10/9(月・祝)	2-5限 (10:40-17:50)	江戸 克栄
基礎	8	経営戦略 <福山市開講>	<p>基本的な戦略立案と新しい戦略立案手法である「社会システム・デザイン」との基本的な戦略の考え方と立案には共通点がある。戦略とは学問というより「実践知」であるため、実際の現場で活躍中のプロフェッショナルに体験からくる生き生きな話を聞き、議論する。ついで、「社会システム・デザイン」が重要であると考える時代背景とアプローチの大枠を説明し、続いて通常の戦略立案との共通部分を、伝達の律と方法を含めて理解を促す。</p> <p>その後、「社会システム・デザイン」の例をいくつかを議論し、Abductiveなアプローチ、中核課題の発見、サブシステムの考え方等の事例を議論する。</p> <p>最後に、最近の急速な技術の展開とそれに影響される人間観のパラダイム・シフトというべき変容の仮説を提示、それに応じた「社会システム・デザイン」の修正の必要性を説明する。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス等)】 経営戦略は学問というより高度技能であり、「身体知」であるから、単に頭での理解ではなく具体的に手を動かして、いわば、体全体で理解するようにする。</p>	1年	2	第3クォーター集中	9/24(日) 10/1(日) 10/15(日) 10/22(日)	2-5限 (10:40-17:50)	横山 禎徳
専門	9	地域における合意形成	<p>価値観が多様化するなか、異なる人々が話しあいのなかから、より良い解決策を共に見出し、意思決定する合意形成の考え方と技術がこれまで以上に求められている。これまで地域の課題は、行政が中心となり、議会や専門家など限られた人々のなかでの合意形成によって解決することが多かった。しかし、市民の地域への問題意識の高まりや公共分野における民間活力導入などから、従来の事業推進手法が見直され、新たな合意形成のあり方が模索されている。</p> <p>本授業では、イノベーションが求められる地域において、企業やNPO組織、行政が組織外のさまざまな人とともに新たな価値を創出できる合意形成のプロセスについて実例を用いて学ぶ。さらに、学んだ知識を踏まえ、学生自らが社会的合意形成プロジェクトの企画、プレゼンテーションを行う。</p> <p>【履修条件】 「多様な価値とファシリテーション」を事前に履修していること。</p>	2年	2	第7クォーター (9月～11月)	木曜	6・7限	百武 ひろ子

【平日】: 6限: 18:30 - 20:00, 7限: 20:00 - 21:30
 【土日】: 1限: 9:00 - 12:10, 2限: 10:40 - 12:10, 3限: 13:00 - 14:30
 4限: 14:40 - 16:10, 5限: 16:20 - 17:50, 6限: 18:00 - 19:30

令和5年度後期授業科目の概要及び開講時期

科目区分	No.	授業科目の名称	授業の概要	配当年次	単位数	開講時期	開講曜日	開講時限	担当教員
専門	10	特別研究E(サービスマネジメント)	<p>総務省の日本標準産業分類によると、サービス産業に属する業態は多岐にわたり、日本のGDPの約7割を占める。サービス産業の現状の特質と将来の傾向を探ることは、今後の日本経済の持続的成長には必要である一方、コロナ禍により先行き不透明な不確実性が色濃い現代社会においては現実をしっかりと見極め、柔軟に対応できる思考も必要不可欠である。</p> <p>この授業では多分野にわたり、一線で活躍する専門家や実務家の声を聞き、ディスカッションやワークショップを通して各業種の実態と経営革新について学び、多様化するサービスやマネジメントの本質を根底から問い直す。そして、事業創造力や編集思考力を高め、未来へ向けた持続可能性を検討するものである。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス等)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お呼びする専門家・実務家のスケジュール調整の結果、取り扱うテーマが変更、回が前後する可能性がある。また、アンケートやワークショップの結果などから予定を変更する可能性がある。変更については初回の授業で説明する。 ・多くの学生にとって異分野・異業種の話が中心になるが、いかに自分の分野に応用できるかという視点で思考し、議論に参加することを期待する。 ・授業はデュアル方式を予定しているが、ゲストスピーカーと全国各地から繋いだり、県外からの移動の都合によってはオンラインのみの実施の可能性がある。各回の実施方式について初回の授業で説明する。 	2年	2	第7クォーター(9月~11月)	土曜	1・2限	磯貝 日月 吉川 成美
応用	11	スモールビジネスのファイナンス	<p>「ファイナンス」が大企業を対象としているのに対して、「スモールビジネスのファイナンス」は、文字通り、スモールビジネス(中小企業)を対象としている。</p> <p>スモールビジネス(中小企業)は、安定的に推移するビジネスと、急速に成長するビジネス(いわゆる、スタートアップ/ベンチャー)に大別される。各々のビジネスにおけるファイナンスは大きく異なる。</p> <p>授業では、安定的に推移するビジネスを対象とした、スモールビジネスのファイナンス(中小企業金融)と、急速に成長するビジネスを対象とした、アントレプレナーファイナンス(スタートアップ/ベンチャーファイナンス)という2つの領域を扱う。</p> <p>授業は、担当教員からの講義とそれに伴う履修者によるプレゼンを組み合わせて行う。プレゼンに対する成績評価の割合が大きいことから、プレゼンの準備、報告及び議論に多大な労力を伴うことを認識したうえで、履修されたい。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス等)】</p> <p>基礎科目である「アカウンティング」及び「ファイナンス」に関連する応用科目として位置付けられており、単位取得レベル相当のファイナンスの知識を習得していることを前提とする。</p> <p>授業の内容は、履修者の関心や理解度に応じて変更する可能性がある。</p>	1年	2	第4クォーター(11月~1月)	水曜	6・7限	高橋 陽二
専門	12	医療介護経営序説	<p>ヘルスケアサービス消費の国際比較で用いられる指標、総保健医療支出Total Health Expenditureで見ると、日本は優に60兆円規模に至っており、その9割強が社会保障制度で管理され、医療介護機関が主たるサービス提供者になる。その経営資源すなわち医療介護のヒト・モノ・カネ・情報のやり繰りなるものが、行政が担う医療介護提供体制を持続させる仕組みすなわち制度経営論と、主として医療介護事業者が担うサービス提供を持続する仕組みすなわち事業経営論の二つの論理をもって説明できる。本授業では、これら両論を理解するための準備となる。</p> <p>授業では、自著テキスト『ソーシャルビジネスとしての医療経営学』から初段の部分を紹介説明するとともに関連資料を提供して質疑応答やディスカッションを進める中で、経営の目で見たときのヘルスケアのビジネスの特徴を概説する。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス等)】</p> <p>医療介護すなわちヘルスケアのビジネスについてかねてより関心を持っている、あるいは既にこの分野に関わっていて経営上の問題意識を持っていることが望ましい。</p> <p>【履修条件】</p> <p>本科目には履修条件はありませんが、「医療介護経営序説」の履修は来年度開講予定の「医療介護の制度経営」と、「医療介護の事業経営」の履修条件となっています。</p>	1年	1	第4クォーター(11月~1月)	木曜	6限	西田 在賢

【平日】: 6限: 18:30 - 20:00, 7限: 20:00 - 21:30
 【土日】: 1限: 9:00 - 12:10, 2限: 10:40 - 12:10, 3限: 13:00 - 14:30
 4限: 14:40 - 16:10, 5限: 16:20 - 17:50, 6限: 18:00 - 19:30

令和5年度後期授業科目の概要及び開講時期

科目区分	No.	授業科目の名称	授業の概要	配当年次	単位数	開講時期	開講曜日	開講時限	担当教員
応用	13	ヘルスケア情報のマネジメント	<p>日本のヘルスケア産業は、医療介護分野を中心に国内最大の市場規模に膨らんできており、健康分野の市場成長の動きも目覚ましい。しかし、OECD加盟国内で比較すると、日本ではヘルスケア分野における情報技術や運用に対する制度が追いついていない状況がある。</p> <p>また、日本のヘルスケア分野では、これまで医療を中心に情報技術が発展してきている。今後は、健康から医療、医療から介護といったサービスの連続性を考えた上で、双方向での連携が重要であり、国、地域、民間において相互運用性(Interoperability)を高めるための取り組みが進んでいる。しかしながら、ICT(Information and Communication Technology)サービスの投資対効果の検討が十分に進んでいない状況がある。</p> <p>これらの状況から、高齢化と人口減少への対策として、ヘルスケアサービスの生産性向上のために、経営資源の一つとなる「情報(技術)」のマネジメント手法の開発が期待されている。</p> <p>本講義では、ヘルスケア分野の情報技術の進展からみた経営課題を理解し、ビジネスと制度・政策との関連性からヘルスケア産業の将来を考え、各々のビジネスに応用できるようになることを目的とする。なお、本講義は、知識の習得と合わせてディスカッションによる双方向での対話を重視する。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス等)】 ヘルスケア分野の経営の専門性の理解を深めるために、第4Qの「医療介護経営序説」を履修することが望ましい。 講義の事前学習に必要な文献等は講義中に提示する。</p>	1年	1	第4クォーター(11月~1月)	木曜	7限	島川 龍哉
応用	14	ファイナンスB	<p>本授業は、「ファイナンス基礎」「ファイナンスA」の授業内容を理解していることを前提とし、コーポレートファイナンスが「実践」できるようにすることを目的としている。資本政策と資本コスト、負債の存在と株式資本の期待収益率、ベータ、加重平均資本コスト(WACC)の関係、さらにペイアウト政策とコーポレートガバナンスを確認しながら、表計算ソフト(エクセル等)を用いて、企業価値評価を「実践」する。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス等)】 参考文献は、随時授業中に紹介する。なお、田中・保田(2013)Part6、田中・保田(2019)第9章、俊野・白須・時岡(2020)第15章の内容を講義中にも利用するが、必ずしも購入の必要はない。 ・俊野雅司・白須洋子・時岡規夫『ファイナンス論・入門』有斐閣、2020年 ・田中慎一・保田隆明『あわせて学ぶ 会計&ファイナンス入門講座』ダイヤモンド社、2013年 ・田中慎一・保田隆明『コーポレートファイナンス戦略と実践』ダイヤモンド社、2019年</p> <p>海外MBAでは、以下のようなテキストがファイナンスの講義において使われている(翻訳本があるもの限定し紹介する)。 (1)バーク、ディマーズ『コーポレートファイナンス:入門編[第2版]』丸善出版、2014年 (2)ブリーリーら『コーポレート・ファイナンス第10版(上)』日経BP社、2014年 (3)デザイ『HOW FINANCE WORKS』ダイヤモンド社、2020年 等 なお、授業の内容は、履修者の関心や理解度に応じて変更する可能性がある。</p> <p>【履修条件】 「ファイナンス基礎」、「ファイナンスA」の内容を理解していることを前提とする。</p>	1年	1	第4クォーター前半(11月~12月)	土曜	1・2限	高橋 陽二

[平日]: 6限: 18:30 - 20:00, 7限: 20:00 - 21:30
 [土日]: 1限: 9:00 - 12:10, 2限: 10:40 - 12:10, 3限: 13:00 - 14:30
 4限: 14:40 - 16:10, 5限: 16:20 - 17:50, 6限: 18:00 - 19:30

令和5年度後期授業科目の概要及び開講時期

科目区分	No.	授業科目の名称	授業の概要	配当年次	単位数	開講時期	開講曜日	開講時限	担当教員
専門	15	特別研究F(スタンフォード大学連携科目1) <オンラインでの受講となります>	<p>本講は、Zoomを利用してスタンフォード大学から配信される遠隔授業です。シリコンバレーを中心とした国外から、起業家をはじめとする多彩なゲストスピーカーを迎えるオムニバス形式での開講となります。オンラインでも受講生が質の高い学びを達成できるよう、スタンフォード大学が提供する学習支援環境CANVASを利用して事前学習を進め、受講生にはゲストスピーカーや他の受講生と積極的に交流していただきます。各回の授業前半では、ゲストからさまざまな経験お話しいただいた後、受講生が自由に質問したり発言できる時間を設けます。また、授業の後半では担当グループの受講生のファシリテーションにより、毎回異なるテーマに沿った議論をする形式で進行します。</p> <p>なお授業は隔週で開講され、合間の週には前回の復習と次回の予習が行えるよう、余裕を持ってデザインされています。授業開講スケジュールが変則的なので授業計画で日程をご確認ください。ゲストスピーカーとの日程調整の関係でシラバス公開時には日程が定まっておりません。日程が決まり次第、あらためて公開させていただきます。原則的に教室に集まることなく、各自自宅からのオンライン参加を想定しています。利用言語は日本語です。</p> <p>本講は、スタンフォード大学の学習管理システムCanvasを使って実施されます。受講生はCanvasのサイトから各回の講義に必要な連絡事項・課題などをチェックし、事前学習を目的とした教材(文献・動画など)にアクセスし、オンライン・ディスカッションに参加します。</p> <p>【備考(履修上のアドバイス等)】 シリコンバレーで活躍する人材と直接交流する貴重な機会です。ネットワーク、視野、そして世界観を広げるつもりでぜひ積極的に質問・発言をしてください。ディスカッションやグループワークにも自主的な姿勢で臨んでください。そのためには事前課題にきちんと取り組むことが求められます。Canvasの情報をこまめに確認してください。</p>	1年	1	第4クォーター集中		土曜1・2限 1月13日(土) 1月27日(土) 2月10日(土) 2月24日(土)	吉川 成美 土本 康生 磯貝 日月
応用	16	SME事業経営演習<福山市開講>	<p>SMEとはSmall and Medium Enterpriseの略で、中小企業・中小規模組織のことを指す。SMEが経済活力の源泉となっており、数多く集積する備後圏域の中心都市である福山市内を会場として、SMEの事業経営に関する実践的な演習を行う。具体的には、事業経営に必要な経営戦略、マーケティングやブランド戦略等に焦点を当て、中小企業・中小規模組織の経営分析を演習として実施する。なお、3/16(土)の2,3限(10:40-14:30)で参加任意のフィールドワーク(福山市近郊の企業訪問や企業講演会等)を実施する予定である。</p> <p>※会場は以下の通り ・3/15: 学びの館ローズコム(福山市霞町1-10-1) ・3/16, 3/17: 広島県民文化センターふくやま(福山市東桜町1-21)</p>	1年	1	第4クォーター集中		3月15日(金) 18時30分～21時30分 3月16日(土) 14時40分～17時50分 3月17日(日) 10時40分～17時50分	岡田 浩一
専門	17	地域事業開発演習<福山市開講>	<p>本科目では、激変するビジネス環境の中、イノベーションの実現に向け、アントレプレナーシップの観点から新たなビジネスの型をつくるべく、新規事業の創出を目指した事業計画の作成に取り組む。前半ではグループワークを中心に、知識やスキルの異なる多様なメンバーが協力し、最終的な成果物の作成を念頭に、係の一連の流れを経験する。後半では、各自で課題やテーマを設定し、能動的な個人ワークを実施する。グループ討議では、個人ワークの進捗をグループ内で発表し、多様なメンバーとの討議による創発を目指す。個人ワークでは、基本的にホームワークとなるため、各メンバーは自身の進捗を踏まえて、適宜、講師等に助言を求めるなど主体的に取り組む。</p> <p>※会場: 学びの館ローズコム(福山市霞町1-10-1)</p>	2年	2	第8クォーター集中 (11月～3月)		土曜1・2限 11月11日(土) 11月25日(土) 12月9日(土) 1月6日(土) 1月20日(土) 2月3日(土) 2月17日(土) 3月2日(土)	江戸 克栄 磯貝 日月

※ 表中の授業の概要及び開講時期は変更することがあります。